

令和4年度（2022年度）

第3期豊中市食育推進計画年次報告書



えがおも
おいしい
おかずだね!!



今日の食事が、
明日のチカラ。

令和6年（2024年）3月

豊中市
Toyonaka City

■本報告書について

本市では、平成30年(2018年)3月に「第3期豊中市食育推進計画」を策定しました。

この計画は、食育基本法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画で、「豊中市食育推進計画」、「第2期豊中市食育推進計画」を引き継ぐものです。

「食べることは、人の生き方そのものである」という視点から、市民だけでなく、地域や関係機関、事業者や生産者、行政などが連携し、ほんの少しずつの食育を実践することで、より健康で心豊かな生活の実現をめざす「とよなか食育プラスワン」に取り組んでいます。

本計画の効果的な推進を図るため、毎年度進捗状況を把握・点検し、評価・見直しを行うこととしております。

本報告書は、食育に関する令和4年度(2022年度)の市内の取組み状況等についてまとめたものです。市民のみなさまや食育に携わる関係者のみなさまに、本市の食育推進の現状を知っていただくとともに、市民、地域、事業者や関係者の連携により、自然と食育に取り組める環境づくりをめざします。

現行の第3期豊中市食育推進計画期間は、平成30年度(2018年度)～令和4年度(2022年度)となっていましたが、国や都道府県、市の方向性の一致を図るため計画策定を1年延期し、令和5年度(2023年度)までとしています。

豊中市食育推進計画のシンボルマークとキャッチフレーズについて

「市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活ができることをめざす」豊中市食育推進計画の実現を図り、市民のみなさまに計画を身近なものと感じていただくために募集をしました。(平成21年度(2009年度))
一般の部、児童の部から選ばれた作品です。(応募総数1,109作品)



シンボルマーク一般の部
松浦 知恵子さんの作品



シンボルマーク児童の部
新田小学校
上村 梨花さんの作品

今日の食事が、
明日のチカラ。

キャッチフレーズ一般の部
榎 寛子さんの作品

えがおも おいしい
おかずだね!!

キャッチフレーズ児童の部
南桜塚小学校
東 千咲季さんの作品

目次

1. 第3期豊中市食育推進計画 基本理念・目標・基本方針	1
2. 目標項目と目標値	4
3. 目標別主な取組みの実施状況.....	6
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう.....	6
II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	6
III おいしく、楽しく、食事をしよう	7
IV 食べる物、食べることを大切にしよう	8
V 歯や口の健康を維持・増進しよう	9
VI 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう	9
4. 各事業の進行状況	10
基本目標別索引.....	10
食育推進計画 基本目標を実現するための方向性とめざす姿.....	11
令和4年度 食育推進計画関連事業一覧	12

1. 第3期豊中市食育推進計画 基本理念・目標・基本方針

豊中市の食育推進計画では、次の基本理念のもとで、「食べることは、人の生き方そのものである」という視点から、各ライフステージや一人ひとりのライフスタイルに合わせた食育を推進し、健康で心豊かな生活の実現をめざします。

食育への取組みが進む中で食育に関心を持つ人が増えている一方、全く関心のない人がいたり、望ましい食習慣を実践できている人がいる一方で実践したくてもできない人がいたり、市民の食育への意識や行動が二極化してきています。このような中、本計画では、一人ひとりの市民がほんの少しずつの「食育」の実践をすることで健康で心豊かな生活を実感できることをめざす「とよなか食育プラスワン」に取り組みます。

基本理念

『市民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かな生活ができるように
「市民自らが食に関する正しい知識と食を選択する力を習得し、
健全な食生活を実践できる」ための食育を推進します』

本市における食の現状と課題を踏まえ、食育を推進していくため次の6つの目標と、目標を実現するための基本方針を立てています。

I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

a. 食に関する知識の普及・啓発や情報提供

食に関する様々な情報が氾濫する中で、市民が食に関して正しい情報を取捨選択できるよう、様々な媒体や手段を通じて、普及・啓発、情報提供を行います。

b. 食育に関する正しい理解の促進

市民が食育に関して正しく理解し、それぞれに応じた食育を実践できるよう、相談・指導などを通じて、きめ細かく対応します。

c. 危機管理に対する情報提供と啓発

自然災害や食中毒、感染症などに対応できるように、情報提供と、日頃からの備えができるよう働きかけを行います。

d. 食育推進運動の周知啓発

市民・団体や事業者などが市内全域で様々な食育に対する活動を広げたり、深めたりできるように、食育推進運動の周知を行います。

Ⅱ 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

a. 幼年期における望ましい食習慣の形成

生涯にわたる食生活の基本を身につける幼年期に、望ましい食生活を確立できるよう、食に関する講習会や、認定こども園・保育所（園）・幼稚園などを通じて、それぞれの発達段階に応じた情報提供や相談を行い、実践を促進します。

b. 少年・若い世代における食の自立に向けた支援

子どもや若者が、自ら適切な食事を選んだり、準備したりすることができるよう、食に関する知識や簡単な調理方法について学ぶ機会を提供し、食の自立に向けて支援します。

c. 健康状態にあった食育の推進

各々の健康状態にあわせた講座や相談などにより、自分や家族にあった適切な食育の実践ができるよう支援します。

d. 調理技術や食に関する知識の習得

料理初心者の人や忙しい人など状況に合わせて、下処理済みの食材や中食などを活用した食事の準備方法や手軽にできるレシピなどの情報を提供したり、食に関する講座を行ったりして、自分で調理する機会が増えるよう支援します。

Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう

a. 交流を深める場や食事をする機会の提供

地域において、様々な世代が気軽に集い、交流できる場や、食文化などを伝えることができるような機会が増えるよう支援します。

b. 楽しい食事の促進

みんなで食事を作ったり、一緒に食事をしたりすることで、楽しく食事ができる機会が増えるよう支援します。

Ⅳ 食べる物、食べることを大切にしよう

a. 体験・機会の充実

家庭菜園や農業体験などによる生産者との交流や生産体験を通じて、食べる物や食べることを大切にする気持ちを育て、自然の恵みを理解できるような機会を充実させます。

b. 環境教育・環境学習の推進

食の生産から消費、廃棄までの食の循環を意識した情報提供やイベントなどを行い、現在の生活を見直し、食べ残しや手つかず食品の廃棄をできる限り減らすなどの環境に配慮した行動を促します。

c. 地産地消の推進

飲食店やスーパーへの働きかけやイベントなどを通じて、地元生産者や食材を知る機会を増やし、地産地消を促進します。

V 歯や口の健康を維持・増進しよう

a. 歯科疾患の予防と口腔機能の育成・維持・向上

個々の発達段階や、歯や口の健康状態を理解し、適切な健康づくりに取り組めるよう、相談機会の提供と支援を行うとともに、かかりつけ歯科医を持ち定期的な歯科検診を受けることの意義について普及・啓発を行っていきます。

b. 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発

歯や口の健康づくりに対する関心が深まるよう、様々な媒体やイベントなどを通じて、情報提供と普及・啓発を行っていきます。

VI 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう

a. 適切な食を提供・選択するための環境整備

学校、事業者などと連携し、正しい情報の提供によって、健康的な食が提供される環境をつくれます。

b. 地域や関係団体等の活動支援や連携促進

食育に関する活動を行う人材の育成や団体の支援、ネットワークづくりを行い、誰もが無理なく取り組める食育の推進体制を整備します。



2. 目標項目と目標値

※1 「策定値」とは、計画策定時に実施した市民アンケートの数値

※2 「目標値」とは、計画策定時に設定した数値

目標	策定値 ※1 (平成 28 年)	目標値 ※2 (令和 4 年)
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう		
★食育に関心を持っている人の増加		
幼年期(0～5 歳)の保護者	87.7%	95%
少年期(6～15 歳)の保護者	86.0%	95%
16～19 歳	46.8%	95%
20 歳代	63.1%	95%
30 歳代	72.8%	95%
40 歳代	69.5%	95%
50 歳代	61.3%	95%
60 歳代	59.1%	95%
70 歳代以上	59.9%	95%
★災害時に活用できる保存食や飲料をまったく備蓄していない人の減少		
幼年期(0～5 歳)の保護者	18.4%	10%
少年期(6～15 歳)の保護者	14.0%	10%
16～19 歳	27.0%	10%
20 歳代	20.9%	10%
30 歳代	21.1%	10%
40 歳代	21.7%	10%
50 歳代	18.3%	10%
60 歳代	14.1%	10%
70 歳代以上	17.8%	10%
★塩分を抑えた食事を心がけている人の増加		
20 歳代	58.8%	65%
30 歳代	66.7%	70%
40 歳代	71.4%	75%
50 歳代	79.1%	85%
60 歳代	81.5%	85%
II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう		
★朝食を食べる頻度が週に 2～3 回以下の人の減少		
少年期(6～15 歳)	4.6%	0%
16～19 歳	8.1%	5%
20 歳代	21.9%	15%
30 歳代(男性)	18.2%	15%
40 歳代(男性)	20.1%	15%
★主食・主菜・副菜がそろった食事を 1 日 2 回以上摂っている人の増加		
20 歳代	46.5%	70%
30 歳代	52.8%	75%
40 歳代	58.5%	80%
50 歳代	59.9%	80%

目標	策定値 ※1 (平成 28 年)	目標値 ※2 (令和 4 年)
Ⅲ おいしく、楽しく、食事をしよう		
★食事が楽しいと感じる人の増加		
幼年期(0～5 歳)の保護者	80.6%	90%
20 歳代	76.4%	85%
30 歳代	81.8%	85%
40 歳代	81.9%	85%
50 歳代	77.2%	80%
60 歳代	74.9%	80%
70 歳代以上	63.1%	80%
Ⅳ 食べる物、食べることを大切にしよう		
★食べ残しを減らす努力を必ずしている人の増加		
16～19 歳	62.2%	65%
20 歳代	64.1%	65%
30 歳代	57.3%	65%
40 歳代	60.2%	65%
50 歳代	65.7%	65%
60 歳代	56.8%	65%
70 歳代以上	57.8%	65%
Ⅴ 歯や口の健康を維持・増進しよう		
★かかりつけ歯科医を持つ人の増加		
幼年期(0～5 歳)	39.5%	45%
少年期(6～15 歳)	71.5%	75%
16～19 歳	36.9%	40%
20 歳代	30.6%	35%
30 歳代	37.5%	40%
40 歳代	41.5%	45%
50 歳代	51.8%	55%
60 歳代	52.7%	55%
70～74 歳	68.0%	70%
75 歳以上	61.0%	65%
★歯間ブラシ・デンタルフロスを使用している人の増加		
16～19 歳	40.5%	50%
20 歳代	42.5%	50%
30 歳代	57.3%	65%
40 歳代	64.3%	75%
50 歳代	70.9%	80%
60 歳代	62.2%	75%
70～74 歳	64.9%	75%
75 歳以上	50.9%	60%
Ⅵ 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう		
★健康的なメニューを提供する飲食店等の増加	3(※1)	増加
★「うちのお店も健康づくり応援団の店」登録店舗数の増加	467(※2)	520

※1 平成 30 年 1 月末時点

※2 平成 28 年度末時点

3. 目標別、主な取組みの実施状況

※新型コロナウイルス感染症による影響を受けているものがあります。

I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう

	事業名	内容	担当部署	令和2年度	令和3年度	令和4年度
I-b7	健康相談	生活習慣病予防など健康に関する相談に電話や面接で対応	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	325回 350人	262回 338人	548回 718人
I-b11	特定保健指導	特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその予備軍を判定した人に対し生活習慣改善のための特定保健指導を実施。	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	動機づけ支援 202人 積極的支援 37人 計239人	動機づけ支援 214人、 積極的支援 37人 計251人	動機づけ支援 219人、 積極的支援 32人 計251人
I-c4	インデックス付コンパクトサイズの『防災ガイド』の作成	自宅だけではなく、近所・遠方にいるときでも一定の災害対応が実施できるよう、「自助」をベースに災害対応をまとめた持ち歩き可能な啓発印刷物を作成し配布。	コロナ健康支援課 (旧健康政策課) 危機管理課	在庫分に対応	最新情報に更新し、9,000部作成	3,500部配布
I-d1	食育プラスワンシート配布	食育に関心のある人もない人も無理のない範囲で簡単なことから食育を実践してもらえるように作成し配布。	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	新型コロナウイルス感染症の影響により配布なし	栄養相談時に希望者へ配布	800部 + 栄養相談時に希望者へ配布

*

II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう

	事業名	内容	担当部署	令和2年度	令和3年度	令和4年度
II-a1	離乳食講習会	離乳食に関する知識・情報の提供	おやこ保健課 (旧母子保健課)	18回 230人参加	24回 300人参加	30回 375人参加
				18回 178人参加	23回 173人参加	30回 184人参加
II-a2	幼児食講座	幼児食に関する知識・情報の提供	おやこ保健課 (旧母子保健課)	20回 187人参加	オンライン講座 1回6人 講演会(web配信) 実施回数 3回、 総アクセス数 443件	オンライン講座 6回32人 講演会(web配信) 実施回数 2回、 総アクセス数 274件
II-b1	子どもの居場所づくり文化クラブ「クッキング」わくわく講座(月例講座)「親子クッキング」「お菓子づくり」	提案公募型委託事業として特定非営利活動法人北摂子ども文化協会に事業委託。市内在住の児童生徒を対象に専門講師が季節の果物や野菜をもとに手作りおやつなどの講習及び調理など体験の積み重ね、食を営む基礎を育てる。	社会教育課	13回 延43人参加 「親子クッキング」と「お菓子づくり」は実施なし	22回 延76人参加 「親子クッキング」と「お菓子づくり」は実施なし	25回 延118人参加 「親子クッキング」と「お菓子づくり」は実施なし

	事業名	内容	担当部署	令和2年度	令和3年度	令和4年度
II-b6	学校給食センター職員による学校訪問	学校給食センター職員が市内の公立小学校を訪問し児童を対象に給食の話をするなどの交流を図っている。	学校給食課	新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし	新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし	希望する2校の学校への訪問を実施
II-c2	両親教室	初妊婦とそのパートナーを対象に沐浴実習などを実施。(助産師会に委託)	おやこ保健課(旧母子保健課)	6回 延70人 (36組)参加 1~3月は オンライン開催	24回 延422人 (213組)参加 オンライン開催	24回 延680人 (342組)参加 オンライン型、来所型で開催
II-c7	地区健康教室(出前健康教室)	健康に関するご希望のテーマを保健師、栄養士、作業療法士、歯科衛生士等が地域の会場に出向き、講演します。	コロナ健康支援課(旧健康政策課)	9回 延105人	40回 延411人	37回 延424人
II-d3	水道出前教室	小学4年生及びその保護者を対象に水道ができるまでの過程などを簡単な実験を行いながら説明。	上下水道局経営企画課	実験器具の貸出し 27校2,453人 冊子のみ提供 4校353人	実験器具の貸出し 35校3,029人 冊子のみ提供 6校643人	実験器具の貸出し 36校3,194人 冊子のみ提供 6校576人

Ⅲおいしく、楽しく、食事をしよう

	事業名	内容	担当部署	令和2年度	令和3年度	令和4年度
Ⅲ-a6	世代間交流	(市の補助事業)世代をつなぐ学習や交流を促進する場。いも掘り、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施。	社会福祉協議会	12校区 44回 1,543人 新型コロナウイルス感染症の影響で実施校区減	19校区 63回 2,694人 新型コロナウイルス感染症の影響で実施校区減	25校区 98回 6,447人 新型コロナウイルス感染症の影響で実施校区減
Ⅲ-a7	ひとり暮らし高齢者の会食会	(団体自主事業)みんなで会食をすることで、孤立感を防ぎ、仲間づくりを実施。新型コロナウイルス感染症の影響のため、会食会という形はとれず、テイクアウト方式や配食で対応。	社会福祉協議会	38校区 291回8,606人	19校区 63回 2,694人 新型コロナウイルス感染症の影響で実施校区減	29校区 261回 708人(会員数) 新型コロナウイルス感染症の影響で実施校区減 キッチンカー等を利用
Ⅲ-a9	子ども食堂	(子どもの居場所づくり地域福祉モデル事業) 子どもの生活習慣づくりなど、孤食の予防と居場所づくりなど、食事の提供により健やかな子どもの成長と地域のセーフティネットの体制を図る。	社会福祉協議会	(定期開催型) 5校区17回 1,024名 (福祉施設・民間組織・社協共催)8回88名 (和居輪居子ども食堂5回)	3校区12回 172人	4校区78回 2,264人

IV食べる物、食べることを大切にしよう

	事業名	内容	担当部署	令和2年度	令和3年度	令和4年度
IV-a6	給食センターの見学受け入れ(市民向け)	給食センターの様子を見学。	学校給食課	非常事態宣言解除後に受け入れを開始したが、参加団体なし	非常事態宣言解除後に受け入れを開始したが、参加団体なし	小学校で12回施設見学を実施
IV-a8	自然と親しむ事業(小地域ネットワーク事業(市補助))	(小地域ネットワーク事業(市補助事業)の1つとして実施)いも掘り等の土に親しむ事業を校区の実情に合わせて実施	社会福祉協議会	4校区	7校区	7校区
IV-b10	フードドライブの実施	家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。各種イベント等にて実施しています。	減量計画課	・地域イベント3回 合計 66.4 kg ・(株)ダイエー市内3店舗、R2.4~コープこうべ市内3店舗、R2.10~(株)光洋市内5店舗で実施の総重量 2,686.2 kg	・地域イベント3回 合計 341.4 kg ・(株)ダイエー市内3店舗、コープこうべ市内3店舗、(株)光洋市内5店舗で実施の総重量 4,097.8 kg	・地域イベント7回 合計 276.1 kg ・(株)ダイエー市内3店舗、コープこうべ市内3店舗、(株)光洋市内5店舗で実施の総重量 5,930.9 kg
IV-b13	みどりのカーテングづくり	市民との協働で行う豊中みどりの交流会において、小学校やこども園、授産施設等でみどりのカーテングづくり(ゴーヤの栽培)の取組みを支援。	公園みどり推進課	小学校33校 こども園・授産施設等 31施設	小学校29校 こども園・授産施設等 35施設	小学校30校 こども園・授産施設等 32施設
IV-b19	農体験学習	①希望する小学校等に出向き主に4・5年生を対象に野菜の植え付け・収穫、米作りなどの農体験学習を実施。 ②親子や児童等に「とよっぴー農園」において農体験学習を実施。	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	①1回 114人 ②23回 365人	①7回、363人 ②45回、783人 (内33回、380人公園みどり推進課分)	①10回、308人 ②50回、790人 (内44回、626人公園みどり推進課分)
IV-c3	堆肥『とよっぴー』使用野菜等の頒布	地産地消の推進を目的に堆肥「とよっぴー」を使って育てた野菜等の頒布。	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	49回 1,189人	49回 1,195人	36回 1,063人

V 歯や口の健康を維持・増進しよう

	事業名	内容	担当部署	令和2年度	令和3年度	令和4年度
V-a3	歯科健診の実施	虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	こども事業課 学務保健課 (旧学校教育課)	全園児・児童生徒に実施 (年1回)	全園児・児童生徒に実施 (年1回)	全園児・児童生徒に実施 (年1回)
V-b1	すくすくよい歯の教室	乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発(講話や健診)。	おやこ保健課 (旧母子保健課)	14回 205人	24回 236人 (オンライン開催含む)	26回 234人 (オンライン開催含む)
V-b5	「口とからだの健康教室」	口腔衛生の啓発を目的に、歯と口の健康週間(6月4日から10日)にちなんで、小学校を会場に啓発イベント、学校歯科医による講演などを実施。	歯科医師会 学校歯科医会	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止
V-b6	よい歯の高齢者 8020表彰	80歳以上で20本以上歯のある市民を対象に公募。受賞者を一同に会し表彰式開催。	歯科医師会	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、表彰式典は中止とし郵送による表彰 受賞者 124名	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、表彰式典は中止とし郵送による表彰 受賞者 174名	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、表彰式典は中止とし郵送による表彰 受賞者 269名

VI意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう

	事業名	内容	担当部署	令和2年度	令和3年度	令和4年度
VI-a2	血管プロジェクト (減塩協力店の募集)	「買って来た惣菜やお弁当、外食で注文した料理がもともと塩分ひかえめで作られていた」など、自然と減塩につながる環境づくりに協力いただけるお店を募集しています。	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	新規8店舗 累計78店舗	新規9店舗 累計87店舗	新規0店舗 累計87店舗
VI-a3	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。 野菜たっぷりや、エネルギー控えめ等のヘルシーメニューの提供や、健康と環境にやさしい「ヘルシーオーダー」の実施等を推進しています。	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	新規9店舗 累計496店舗	新規1店舗 累計497店舗	新規0店舗 累計497店舗

4. 各事業の進行状況

基本目標別索引

I. 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	
a. 食に関する知識の普及・啓発や情報提供	・・・ P.12
b. 食育に関する正しい理解の促進	・・・ P.19
c. 危機管理に対する情報提供と啓発	・・・ P.23
d. 食育推進運動の周知啓発	・・・ P.24
II. 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	
a. 幼年期における望ましい食習慣の形成	・・・ P.27
b. 少年・青年期における食の自立に向けた支援	・・・ P.32
c. 健康状態にあった食育の推進	・・・ P.33
d. 調理技術や食に関する知識の習得	・・・ P.36
III. おいしく、楽しく、食事をしよう	
a. 交流を深める場や食事をする機会の提供	・・・ P.37
b. 楽しい食事の促進	・・・ P.39
IV. 食べる物、食べることを大切にしよう	
a. 体験・機会の充実	・・・ P.39
b. 環境教育・環境学習の推進	・・・ P.42
c. 地産地消の推進	・・・ P.48
V. 歯や口の健康を維持・増進しよう	
a. 歯科疾患の予防と口腔機能の育成・維持・向上	・・・ P.49
b. 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	・・・ P.51
VI. 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう	
a. 適切な食を提供・選択するための環境整備	・・・ P.53
b. 地域や関係団体等の活動支援や連携促進	・・・ P.55

食育推進計画 基本目標を実現するための方向性とめざす姿

基本目標	方向性	めざす姿
I 食育に関する情報を正しく理解して、実際に行動しよう	a. 食に関する知識の普及・啓発や情報提供 b. 食育に関する正しい理解の促進 c. 危機管理に対する情報提供と啓発 d. 食育推進運動の周知啓発	◆食生活・栄養バランスや、食中毒予防など、食に関する情報を正確に把握し、理解し、実践につなげる。 ◆災害時に活用できる食料や飲料水は普段から多めに備えておく。
II 生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現しよう	a. 幼年期における望ましい食習慣の形成 b. 少年・若い世代における食の自立に向けた支援 c. 健康状態にあった食育の推進 d. 調理技術や食に関する知識の習得	◆朝食を食べる習慣を身につける。 ◆乳幼児期から早寝・早起きなどの生活習慣を確立する。 ◆下処理済みの食材や中食などを活用しながら、主食・主菜・副菜のそろったバランスのよい食事を自分で用意できる。
III おいしく、楽しく、食事をしよう	a. 交流を深める場や食事をする機会の提供 b. 楽しい食事の促進	◆家族や仲間との食を通じたコミュニケーションにより、食事の楽しさを実感できる。 ◆家族との食事や世代間で食事を共にし、食事のマナーや伝統などについて子どもたちに食文化を伝えていく。
IV 食べる物、食べることを大切にしよう	a. 体験・機会の充実 b. 環境教育・環境学習の推進 c. 地産地消の推進	◆野菜などを育て、収穫し、調理することや、生産者との交流などを通じて、食べ物に感謝する気持ちを育む。 ◆買いすぎない、作りすぎないなどの「もったいない」の心を育み、食べ残しを減らす努力をする。
V 歯や口の健康を維持・増進しよう	a. 歯科疾患の予防と口腔機能の育成・維持・向上 b. 歯や口の健康づくりに関する情報提供と普及・啓発	◆むし歯や歯周病などの予防に加え、「食」を支える歯や口の機能の育成と維持・向上を図るため、各世代にあった歯や口の健康づくりの方法を身につけ取り組んでいく。
VI 意識せずに食育を実践できる環境をみんなで実現しよう	a. 適切な食を提供・選択するための環境整備 b. 地域や関係団体等の活動支援や連携促進	◆学校、地域、事業者などと連携して、食育に関心が低い人であっても、そこにいだけで自然と食育に取り組める環境をつくる。

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
I	a	1	広報とよなか	広報戦略課	月1回発行。全世帯と全事業所に配布しています。健康や福祉、環境、教育、人権、文化・スポーツなどの市政情報を提供しています。	発行数月平均 206,325 部 うち食育関連お知らせ記事 183 件	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	2	市民公益活動推進のための情報提供	コミュニティ政策課	「市民活動情報サロン」（豊中駅舎内）及び「市民公益活動支援センター」（庄内コラボセンター内）にて、市民の自主的・自発的な社会貢献活動（市民公益活動）に関する情報提供や相談等を実施しています。（運営は、公募によりNPO法人とよなかESDネットワークに委託）	市民活動情報サロン来場者数 4,296 人 団体情報掲載団体数 154 団体 市民公益活動支援センター来場者数 971 人 団体情報掲載団体数 153 団体 （庄内コラボセンターの開館に伴い、「市民活動情報サロン」は令和5年1月末に閉鎖し、令和5年2月13日より「市民公益活動支援センター」に機能移転）	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	3	市民公益活動推進助成金	コミュニティ政策課	分野を問わず、公募により、市民公益活動事業に必要な経費の一部を助成。市民公益活動団体の自律的・継続的な発展を支援することにより、市内の市民公益活動全体の推進を図る制度です。	助成金交付事業数 18 事業 助成金交付額 2,237,000 円	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	4	技術・家庭科副読本「くらしのノート」	くらし支援課	消費者教育資料集（技術・家庭科副読本）「くらしのノート」を作成し、学校現場で活用を推進しています。豊中市食育推進計画に関する記述あり。	市内在学の小学5年生に配布 小学生版 4,200 部発行	継続	継続			●									
I	a	5	生活関連物資課題調査	くらし支援課	（令和4年度より特定非営利活動法人とよなかESDネットワークに委託）食料品、日用品等の生活関連物資について、年3回テーマを決め市場調査を行っています。	実施タイトル：「買い物探検隊」フェアトレード商品を探そう 参加人数：のべ22名 開催回数：4回	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	6	くらしの情報	くらし支援課	消費生活情報誌「くらしの情報」を発行し、くらしかん及び市内公共施設で配布しています。	A4判 3,000 部発行/2回 PDF判 発行/1回 点字版B5判 12 部発行/3回	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
I	a	7	くらしかんのホームページ	くらし支援課	くらしかんホームページにより、消費生活情報を提供しています。	市ホームページで消費生活情報を提供しました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	8	くらしかん祭り	くらし支援課	消費者問題等を楽しく学んでもらうことを目的に毎年統一テーマを決め、様々な催しをくらしかん登録グループとともにくらしかん全体で行う消費者啓発イベントを開催しています。	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止。 代替として消費者教育セミナーを実施。 参加者：36人（食育関係はなし）	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	9	くらしの教員セミナー	くらし支援課	小中学校技術家庭科教員対象の消費者問題啓発講座（年2～3回）を実施しています。	食育関係講座を1回実施。参加者：11人	継続	継続			●	●	●	●						
I	a	10	消費者啓発講座	くらし支援課	①消費生活セミナー：消費生活の基礎知識を学ぶ講座 ②消費者月間行事：消費者月間の5月に消費者庁の統一テーマに沿って啓発事業を実施しています。 ③学校向けに啓発講座を開催しています。	①消費生活セミナー：2回（うち食育関係なし） ②消費者月間行事：中止 ③学校における啓発事業90回（1クラス1回でカウント）2,783人（うち食育関係13回543人）	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	12	生活情報ひろば事業 (市民啓発業務等)	くらし支援課	（とよなか消費者協会に委託）平成18年8月に制定した「豊中市の消費者のくらしを守る条例」に基づいて開設した「生活情報ひろば」において、くらしかん登録グループ主体による消費者啓発講座・展示等の中で、食に関する講座・展示を開催しています。	パネル展：12回（うち食育関係3回） 地産地消イベント：12回講座：4回	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
I	a	13	消費者活動の支援	くらし支援課	消費者団体について、登録制を実施し、定例会の運営や事業（リユースバザー・くらしかん祭り・講座等）を市と協働で行うことにより、活動の促進支援を図っています。また、使用申込を一般申込の3か月前から6か月前に優遇し、また「生活情報ひろば」を活動・交流の場として提供して活動の支援を行っています。	登録グループ8団体	継続	継続						●	●	●	●	●	●
I	a	14	ホームページ「食生活・栄養」	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	健康づくりを支援する環境づくりを目的に平成18年6月に立ち上げ、食育に関する情報の発信、「とよなかの自慢料理」の紹介等を行っています。	第3期豊中市食育推進計画、「とよなっカメラレシビ」の掲載、減塩等について掲載し、情報発信しました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	15	「食事バランスガイド」の啓発	おやこ保健課 (旧母子保健課)	食育講座などにより食事バランスガイドの啓発を行っています。	随時実施	継続	継続	●	●									
I	a	16	情報誌等の発行	こども支援課 (旧こども相談課) 子育て支援センター	妊娠がわかってから就学前までの子育て情報を掲載した「子育て応援BOOK『みんなまで』」を発行し、離乳食講座・食の講座の情報を提供しています。	「とよなか子育て・子育て応援BOOK『みんなまで』」を発行し、妊娠期から子育て期における手続きや支援制度・子どもの健康・地域の子育て支援等の情報を提供しました。	継続	継続	●	●									
I	a	17	子育て支援ホームページの充実	こども支援課 (旧こども相談課) 子育て支援センター	豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しています。	豊中市ホームページにおいて、子育てに関するさまざまな情報を公開するとともに、最新情報を定期的に更新しました。	継続	継続		●									

令和4年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
I	a	24	給食だよりの配布	児童発達支援センター・児童発達支援事業所あゆみ	給食予定献立、食育に関する情報を掲載した給食だよりを配布しています。	月1回配布	継続	継続	●											
I	a	26	レシピの発行	児童発達支援センター・児童発達支援事業所あゆみ	給食の中から、家庭で作りやすいようにアレンジしたレシピを発行しています。	随時実施。	継続	継続	●											
I	a	27	小学校給食ホームページ	学校給食課	①献立表の掲載 ②毎日の献立を画像付で紹介 ③給食メニューのレシピ紹介 ④食育イベント等の報告	①給食実施日（193日/年）のA・B献立表の掲載 ②毎日の献立を画像付で紹介（A・B193日分） ③給食メニューのレシピ紹介（7件） ④食育イベント等の報告 ・ふれあい緑地フェスティバル出展 ・とよっぴーフェスタ出展 ・空と緑のミュージアムに出展	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
I	a	28	こども園地域活動事業	公立こども園	園庭開放、誕生会、身体計測、年間行事、高齢者との世代間交流、育児講座、赤ちゃんサークル等を行っています。	地域の子育て家庭対象に園庭・プレイルーム開放（平日）、誕生会・身体計測、子育て講座、食育講座・講習会、サークル活動、育児相談（電話・面談）等を実施しました。手作りおやつ講座や離乳食講習会において、食に関する相談や保護者同士の情報交換の機会を設けているほか、園開放をはじめとする各種とりくみは同年代の子どもを持つ保護者の交流の場となっています。	継続	継続	●	●			●	●	●	●	●	●	●	

令和4年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等※	所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
						R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
I	a	28	こども園地域活動事業	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園・豊中市民間 保育園連合会加盟保育 園・豊中市認定こども園 協議会加盟園	園庭開放、誕生会、発育測定、年間行 事、高齢者との世代間交流、親子教室、 赤ちゃんサークル等を行っています。	コロナ禍の影響から、ほとんどの活動を工 夫し、規模を縮小しながら実施している園が 多い。0歳からの未就園児を対象に保育室の 開放を行っている園があります。	縮小	縮小	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	a	29	教室向け給食だより 「もぐもぐ」、栄養メ モ	学校給食課	毎月、教室掲示用に給食だより「もぐも ぐ」、献立カレンダー、(栄養・食品に 関する説明入り)を発行しています。	(小学校) 給食だより「もぐもぐ」、献立カレンダーは 月1回各クラスに1枚ずつ配布しました。 (中学校) 全員給食が始まった2学期以降、食育だよ り、献立カレンダーを月1回各クラスに1枚 ずつ配布しました。	継続	継続			●								
I	a	30	お弁当づくりの冊子	学校給食課	お弁当づくりの冊子を6年生児童に配布 しています。	電子化を進めるため、R4年度は移行期間と して各校へ45冊ずつの配布とし、紙媒体で の配布を終了しました。但し、今後も豊中市 HPへの掲載を続け、C4th書庫へも継続して 保管します。	縮小	完了 ・ 廃止			●								
I	a	31	子育てサロン	豊中市社会福祉協議会	(市補助事業)親の出会いの場・学習・ 交流の場づくりとして、校区福祉委員会 と民生・児童委員が連携して実施。食育 に関する相談も行っています。	39校区 392回/6367人コロナの影響で 活動できず、回数減	継続	継続		●	●								
I	a	32	ふれあいサロン	豊中市社会福祉協議会	(市補助事業) なかまづくり・健康増進、いきがいつく りの場として開催校区福祉委員会民生・ 児童委員が連携して実施。食育に関する 相談も行っています。	39校区 870回/14844人 コロナの影響で活動できず、回数減	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
I	a	33	地域子育て支援事業	豊中市社会福祉協議会	(市補助事業) ①わいわい子育てミーティングを開催しています。 ②子育てサークルマップを作成しています。 ③校区福祉委員会での子育て支援活動(小地域福祉ネットワーク活動)を進めています。	①開催せず ②作成せず。とよふぁみ母子モに移行 ③39 校区 (392 回 / 6367 人)	継続	継続		●											
I	a	34	校区健康教室	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	健康づくり推進員がその居住する小学校区において、豊中市(母子保健課(旧健康増進課))と協力して実施する健康教室で、食育や口の健康に関するテーマも取り上げています。校区福祉委員会・公民分館・老人会等と共催したり、講師を市や保健所の専門職員以外に地域住民にお願いしたり、小学校や地区会館で行ったりと、地域に密着して行っています。	健康づくり推進委員会 ・校区数：8 校区、推進員数：57 人 校区健康教室 ・実施回数：18 回、参加者数：332 人 校区健康づくりサポート事業 ・実施回数：82 回、参加者数：2,109 人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	b	2	母子健康手帳交付時の指導	おやこ保健課 (旧母子保健課)	母子健康手帳の交付の機会を通じ、医療職がすべての妊婦と面接することにより個々の妊娠・出産・育児などに関わる不安や悩みを把握し、必要な保健指導や諸サービスの紹介などの援助を行っています。	妊娠届出数 3,083 人	継続	継続	●												
I	b	3	妊産婦・乳幼児等電話面接相談	おやこ保健課 (旧母子保健課)	①妊産婦・乳幼児の保護者等の電話等による相談に対して、保健師、栄養士、歯科衛生士、助産師等が相談に応じています。(平成 22 年 6 月から「妊娠出産子育て総合相談窓口」を開設し、関係機関との連携もはかかります) ②健診後に育児状況など確認が必要と思われる対象者に対し保健師等から電話による保健指導を行っています。	妊娠出産子育て相談窓口 相談数延 20,975 件	継続	継続	●	●											

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
I	b	4	育児相談	おやこ保健課 (旧母子保健課)	①各健診や電話相談などで相談を希望したり、必要と思われる対象者に案内し、3会場で1〜2回/月ずつ実施。保健師・栄養士・保育士が相談に応じます。 ②地域の校区福祉委員会や保育所などと連携した地区育児相談を実施しています。	50回実施、相談数延240人	継続	継続		●											
I	b	5	妊産婦・乳幼児等訪問指導	おやこ保健課 (旧母子保健課)	必要な人に対し保健師または助産師・社会福祉職・栄養士等が家庭訪問を行い、個々の状態に応じた保健指導や必要な援助を行っています。	実4,072人、延5,717人	継続	継続	●	●	●										
I	b	6	4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児健診時の保健指導	おやこ保健課 (旧母子保健課)	①4か月児健診では、第1子に対して離乳食などについて集団指導を実施しています。また、栄養士や保健師などによる個別の相談や保健指導も行っています。 ②1歳6か月児健診及び3歳6か月児健診では、栄養士や保健師などが相談や保健指導を行っています。	コロナ感染拡大防止のため集団指導は実施せず、個別指導のみ実施。 個別指導数 4か月児健診201人、 1歳6か月児健診238人、 3歳6か月児健診113人	継続	継続		●											
I	b	7	健康相談	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	生活習慣病予防・歯・栄養など健康に関する相談に電話や面接で応じています。 ①面接相談（糖尿病等病態に応じた相談、歯科相談など） ②電話相談	548回 718人	継続	継続				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	b	8	骨粗しょう症検査時の保健指導	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	40〜70歳の節目年齢の女性を対象に、個別の医療機関で骨密度測定を行っています。 ○エックス線での測定 ○超音波によるかかとの測定	骨密度測定 3,448人	継続	継続				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
I	b	9	訪問指導	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	保健師・歯科衛生士が家庭を訪問し、健康管理や療養方法に必要な事項を指導しています。	訪問 実7人 延11人	継続	継続						●	●	●	●	●	●
I	b	10	特定健診	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	平成20年度より医療保険者に、被保険者及び被扶養者(いずれも40歳~74歳)を対象とする健診・保健指導の実施が義務付けられました。豊中市国民健康保険加入者を対象に実施しています。	特定健診受診者数 12,718人 受診率 26.7% (法定報告より)	継続	継続								●	●	●	●
I	b	11	特定保健指導	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	特定健診を受診した結果、メタボリックシンドロームやその予備群と判定した人に対して、生活習慣を振り返り、その改善につなげるための特定保健指導を実施しています。	特定保健指導(終了者数) 動機づけ支援 219人、積極的支援 32人、 計 251人	継続	継続								●	●	●	●
I	b	12	骨密度測定時の保健指導	保険給付課	健康展参加市民を対象に、市民が自己の健康管理をするための支援として骨密度測定及び保健師による指導を実施しています。	開催回数 1回 参加者数 157人	継続	継続				●	●	●	●	●	●	●	●
I	b	13	人間ドック受診時の保健指導	保険給付課	人間ドック受診対象者に対し、医療機関が個別指導を実施しています。	人間ドック 1,984人 脳ドック 170人 セット(人間ドック+脳ドック) 920人	継続	継続							●	●	●	●	●
I	b	15	育児支援家庭訪問事業	こども支援課 (旧こども相談課) 子育て支援センター	児童の養育支援が必要でありながら、自ら支援を求めて行くことが困難な状況にある家庭に対して、家庭に訪問し育児に関する相談や助言等の支援を行っています。	育児支援家庭訪問回数 582回	継続	継続	●										

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
I	b	16	子育て支援センターの相談事業	こども支援課（旧こども相談課）子育て支援センター こども事業課	育児、食育、健康などについての相談指導（電話、面接、訪問、出前相談）を子育て支援センター・地域支援保育士が行っています。 公立こども園地域子育て支援センターでは相談（電話・面接）を、地域支援員が行っています。	ほっぺ相談件数 6,344 件 公立こども園地域子育て支援センター相談件数 6,629 件	継続	継続	●											
I	b	17	こんにちは赤ちゃん事業	こども支援課（旧こども相談課）子育て支援センター	生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、授乳状況など親子の心身の状況の把握、および助言を行います。また、子育てに関する情報提供を行います。	訪問対象者数 2,991 人	継続	継続	●											
I	b	18	個人栄養食事指導事業	市立豊中病院栄養管理部	医師の指示による、疾病別の個人栄養食事指導を行っています。	医師の指示のもと、個人に即した栄養相談ができました。 指導人数 1,268 名	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	b	20	地域に開かれた幼稚園づくり事業での相談等	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園・豊中市認定こども園協議会加盟園	地域の子育て中の保護者を対象にした「子育て支援事業」（育児・教育相談など）を実施しています。	親子参加型の集まりを実施したり、地域の公園に出向いて交流を行ったりしている園もあります。保護者を対象にした「子育て支援事業」育児相談や地域貢献支援員（スマイルサポーター）を活用した地域向けの相談事業も実施しています。	継続	継続	●											
I	b	21	育児相談・就学前相談	こども事業課	巡回時、幼児教育サポートセンターのサポーターによる相談を実施しました。	専門家による相談を随時実施しました。	継続	継続	●											

令和4年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
I	b	21	育児相談・就学前相談	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園・豊中市民間 保育園連合会加盟保 育園・豊中市認定こども園 協議会加盟園	専門家による相談事業を実施していま す。	月1回または2回程度、キンダーカウンセ ラー・スマイルサポーターによる子育て相談を 行っています。	縮小	縮小	●											
I	b	22	ふれあい子育て相談	公立こども園・児童発達 支援センター	子育てに関する電話相談と来所（園）に よる相談を行っています。	在園児と地域の子育て家庭対象に育児相談や 発達相談を広報・実施しました。 （合計で6,629回実施）	継続	継続	●											
I	b	22	ふれあい子育て相談	豊中市私立幼稚園連合会 加盟園・豊中市民間保 育園連合会加盟保育園・豊 中市認定こども園協議会 加盟園	子育てに関する電話相談や来所（園）に よる相談を行っています。	コロナ禍以降、中止もしくは回数を減じて実 施	縮小	縮小	●											
I	b	23	電話・面接健康相談	一般財団法人豊中市医療 保健センター	（団体自主事業）電話もしくは面接で、 健康に関する相談に対応しています。相 談の対応は、医師会・歯科医師会及び薬 剤師会の会員が行い、食育や口の健康に 関する内容も相談できます。市民健康展 会場での相談では、栄養相談の窓口も設 けています。	8科目健康相談 実施回数 5回 相談件数 34件 14科目健康相談（市民健康展にて実施） 実施回数 1回 相談件数 58件	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	c	1	食中毒予防街頭キャン ペーン	健康危機対策課 （旧衛生管理課）	食品等事業者や消費者団体と協力し、食 中毒多発シーズンを前に街頭キャンペ ーンを実施し、広く市民に食中毒への注意 喚起を行っています。	街頭キャンペーンは実施せず、動画配信や HP等で食中毒への注意喚起を行いました。	完了 ・ 廃止	—				●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
I	c	2	小学1年生向けリーフレットの配布	健康危機対策課 (旧衛生管理課)	食中毒予防の3原則の周知と、食肉の生食を避け、十分加熱して食べるよう啓発を行っています。	リーフレットの配布は実施せず、動画配信やHP等で食中毒への注意喚起を行いました。	完了 ・ 廃止	—			●										
I	c	3	食育推進のための安全安心ハンドブックⅢの活用	コロナ健康支援課 (旧健康政策課) 健康危機対策課 (旧衛生管理課)	食中毒を予防し、安全で安心な食育活動を継続的に行っていただくために作成しました。地域のお祭りや、イベントなどで模擬店を出店するとき、調理実習をするときなどに活用できます。衛生管理課と合同で作成しました。	5月に実施した特定給食施設等研修会(食中毒予防)に会場参加した36施設に配布しました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	c	4	インデックス付コンパクトサイズの『防災ガイド』の作成	コロナ健康支援課 (旧健康政策課) 危機管理課	自宅だけではなく、近所・遠方にいるときでも一定の災害対応が実施できるよう、「自助」をベースに災害対応をまとめた持ち歩き可能な啓発印刷物を作成し、配布しています。災害への備えなどをまとめた「準備編」、災害発生時の対応をまとめた「災害対応編」を掲載しています。	「防災ガイド」を3,500部配布	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	d	1	食育プラスワンシートの作成・配布	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	食育に関心のある人もない人も無理のない範囲で簡単なことから食育を実践してもらえるように、「ほんの少しの取り組みから始めましょう」という思いを込めてプラスワンシートを作成・配布しています。	他課からの依頼により、800部提供しました。他、栄養相談時に案内し、希望者には配布を行いました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※	所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
						R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
I	d	2	食育プラスワンシートの活用	(一社)豊中市薬剤師会	「血糖値が気になる人のためのプラスワンシート」を市内薬局(薬剤師会会員87店舗)に設置するデジタルサイネージ内でいつでも簡単に閲覧できるようになっています。シートの内容について、疑問や質問などは、その場で薬剤師に相談できる環境を整えています。	2019年以來7薬局に設置していたデジタルサイネージを令和4年6月、80薬局に追加設置し、合計87薬局において、「糖尿病の食生活」という項目で「血糖値が気になる人のためのプラスワンシート」を掲載し、閲覧した市民が希望すれば、プラスワンシートに従い、薬剤師が服薬指導等を行うなどの取り組みを実施しています。今後も設置薬局を増設できれば、掲載内容もさらに充実させ、市民の健康増進に寄与したいと考えています。情報弱者とされる市民にも簡単に食育に関する取り組みを知っていただけるよう発信を続けていく予定です。	継続	継続						●	●	●	●	●	●
I	d	3	「食育月間」「食育の日」の啓発	コロナ健康支援課 (旧健康政策課) おやこ保健課 (旧母子保健課)	毎年6月を食育月間、毎月19日を食育の日として啓発を行っています。	食育に関する講座の中や、ツイッター、保健所内での掲示により、食育月間・食育の日の周知を行いました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
I	d	4	食育コラボ～みんなでは・は・は	読書振興課・図書館	乳幼児向けに歯科衛生士によるお話と図書館職員によるおはなし会を行います。成人向けには口腔機能の講座と関連本の紹介を行います。関連本や絵本の貸出も行い、お口の健康に関する個別相談の時間も設けます。	乳幼児向け講座の開催に向けて働きかけましたが、コロナウィルス感染防止のため実施できませんでした。	中止	継続		●	●		●	●	●				
I	d	5	スポーツの日(体育の日)の事業	スポーツ振興課	スポーツの日の事業において、健康啓発等を実施をしています。	市民72名が参加し、新体カテストを行いました。	拡充	継続		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
I	d	13	市民健康づくりフォーラム	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	健康づくり推進員及び一般市民を対象に健康に関する情報を伝える講演会を開催しています。	新型コロナウイルス感染症予防のため、中止	中止	中止		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
II	a	1	離乳食講習会	おやこ保健課 (旧母子保健課)	離乳食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター ○回数 前期(ごっくんクラス)・後期(かみかみクラス) 年24回ずつ実施。	ごっくんクラス 実施回数 30回 参加者数 375人 かみかみクラス 実施回数 30回 参加者数 184人 (オンライン開催含む)	継続	継続		●									
II	a	2	幼児食講座	おやこ保健課 (旧母子保健課)	幼児食に関する知識・情報の提供 ○会場 千里保健センター、中部保健センター、庄内保健センター	新型コロナウイルス感染症の影響で参加型の実施はせず。 ・オンライン幼児食講座 実施回数6回 参加者数32人 ・幼児食講演会(web配信) 実施回数2回、総アクセス数274件	継続	継続		●									
II	a	3	「親と子の遊びのひろば」こぐま・いるかグループ	こども事業課	1歳6か月から3歳の子どもとその保護者を対象に、人権を尊重した保育を基本に遊び提供・情報提供を行っています。その中で、保護者同士が子育ての楽しさを実感し、悩みを出し合う場をもち、保育所とともに地域の中でつながっていく子育て支援をしています。	各地域子育て支援センターで、4回の連続講座として実施しています。1歳6か月から2歳未満の子どもと保護者対象の「こぐまグループ」と2歳から3歳未満の子どもと保護者対象の「いるかグループ」に分けて実施しています。	継続	継続		●									
II	a	4	子育てに関する講座等の開催	こども支援課 (旧こども相談課) 子育て支援センター こども事業課	子育て支援センターでは子どもの育ちや健康・食育・かかわり方について等の話を提供することで、保護者にとっての育児不安の軽減や子育てに関する情報を得る機会としています。	子育て支援センターでは0歳の子どもと保護者対象のほっこりひろば等で離乳食や食育の話を提供しました。 自園調理のある19か所の公立こども園のうち16施設が実施しました。おやつ講座では作り方を学ぶだけでなく、食について技能員に相談する機会になっています。また、0歳サークルぴよぴよでの離乳食紹介でも技能員に相談できる機会になっています。	継続	継続		●									

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代									
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
II	a	5	給食・弁当時の指導	公立こども園	①食前食後の食事への感謝を指導しています。 ②食べ物を大事にすることを指導しています。 ③食事マナーを指導しています。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導しています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	毎日実施。食事前後のあいさつを通し、食べ物への感謝、食べ物を作ってくれる人への感謝、食べられることへの感謝を指導しました。給食の食材について話題にすること、配膳に関わることで食への興味を引き出します。また、箸の使い方や食前の手洗い、食後の歯磨きなど食に係わる場面での生活指導を実施しました。	継続	継続	●									
II	a	5	給食・弁当時の指導	豊中市私立幼稚園連合会 加盟・豊中市民間保育園 連合会加盟保育園・豊中 市認定こども園協議会加 盟園	①食前食後の食事への感謝を指導しています。 ②食べ物を大事にし、残さず食べることを指導しています。 ③食事マナーを指導しています。 ④嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を指導しています。 ⑤献立に使われた食材について話題にしています。	左記の内容をもとに、コロナの状況に応じて対策や制限をしながら配膳の準備の手伝いや食前の手洗い・うがい、食後の歯磨きを含めて指導しています。コロナ禍のため、食事の際はパーティションの設置とできる限りの黙食の実施や、うがいのみの指導とした園もあります。	継続	継続	●									
II	a	6	摂食指導、栄養指導	児童発達支援センター・ 児童発達支援事業所あゆ み	①個々の摂食機能、食事の好みに合わせた食べ方、食べさせ方について、保護者に指導しています。 ②食に関する保護者からの相談にのっています。 ③保護者向けの食に関する講座を開催しています。	随時実施。	継続	継続	●									

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
II	a	7	給食	公立こども園	①こどもが、おいしく、安全に、楽しく食事をすることで、心身両面の発育を促しています。 ②季節の行事食を提供しています。 ③給食の配膳を児童が自ら行うように指導しています。	毎日実施。安全でバランスのとれた給食を提供し、様々な食材を食べる機会を提供します。給食に使用する野菜の皮むき・すじ取り・ごますり・和え物を仕上げる・おにぎりをにぎる・おやつ作りなどを経験したり、食材を見る・触る（特に季節の野菜）、厨房の見学等を楽しむことで、食への興味を持てるようにしました。	継続	継続	●										
II	a	7	給食	児童発達支援センター・児童発達支援事業所あゆみ	①障害特性に応じたメニュー、食形態の給食を提供しています。 ②個々に適した食形態への加工方法、食事介助について、保護者に体験していただいています。 ③共食体験等を通じて、食べることを楽しいと感じる心を育んでいます。 ④食事マナーを体得する場としています。	毎日実施。	継続	継続	●										

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代									
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
II	a	7	給食	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園・豊中市民間 保育園連合会・豊中市認 定こども園協議会加盟園	次のような工夫をして取り組んでいる園 があります。 ①和食中心のメニューにしています。 ②食材そのものの美味しさを知るよう、 出汁を利かせて薄味にしています。 ③ほぼ国産の食材で調味料にもこだわっ ています。また、手作りおやつを週5回 提供しています。週1回の市販菓子も体 に優しい天然のお菓子を使用していま す。 ④日常の給食に保護者が参加できる機会 を設けています。 ⑤週2回、自然農法の野菜を使用してい ます。	左記を大切に、バランスの取れた献立、季 節の食材を使用し工夫している園があり ます。また子どもたちに、食前食後の食事への 感謝や、食べ物を大事にし、残さず食べるこ と・食事マナー等を指導している園もあり ます。 嫌いなものでも一口食べるなど、偏食改善を 指導したり、献立に使われた食材について話 題にしたりしています。 また、直接食材に触れ、皮むきなどのお手伝 い活動や目の前で調理をみるルッキング、さ らに子どもたちが調理するクッキングなど実 施しています。栽培活動では、苗植えや田植 え、収穫などに取り組んでいる園もありま す。苗植えから子どもたちが手がけたトマト やキュウリなどを給食の食材として使う取 組みをしている園もあります。	継続	継続	●									
II	a	8	集会時の指導	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園、豊中市民間 保育園連合会加盟保育 園・豊中市認定こども園 協議会加盟園	朝食をゆっくり食べてから登園する、苦 手なものでも一口食べるよう指導してい ます。また、正月のおせち料理や桃の節 句の菱餅など「つどい」の時にクイズ形 式で説明し、行事食に興味を持つよう にしている園があります。	行事にゆかりのある食べ物の紹介も大切 にし、指導にあたっては個人差をしっかり把握 して、自信につながるよう対応しています。	継続	継続	●									
II	a	9	給食の試食と、給食に 関する講演会	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園、豊中市民間 保育園連合会加盟保育園	保護者による給食の試食と、栄養士など による講演会を開催しています。	コロナ禍のため中止した園が多いが、入園説 明会などと併せて給食の試食会を開いてい る園もあります。	縮小	縮小	●									

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
II	a	10	保育、教育の中で、調理体験、イベントなどの取り組み	公立こども園	①栄養素について学んでいます。 ②クッキングを体験しています。	絵本や3つの食品群のポスターなどにより栄養素について知る機会があります。菜園活動の収穫物によるクッキングなど年間を通じて随時実施しました。	継続	継続	●											
II	a	10	保育、教育の中で、調理体験、イベントなどの取り組み	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園、豊中市民間 保育園連合会加盟保 園・豊中市認定こども園 協議会加盟園	次のような工夫をして取り組んでいる園があります。自園で野菜の栽培・収穫を行っている。その野菜や園庭で出来た作物を使用し調理して味わう。みそ作り、梅干し作りなど季節に合わせた食育を行い、作る楽しさや食材への興味がわくような取り組みを行う。園外保育時に魚のつかみ取りを体験し、その場で捕まえた魚を焼いて味わう。	コロナ禍のため、調理体験は中止した園が多いが、工夫して簡単に調理出来るもののみで行ったり、感染予防に留意しながら、食育活動を少しずつ再開した園もあります。	縮小	縮小	●											
II	a	11	「食」に関する子育て講座	公立こども園（旧保育所）	こども園(旧保育所)給食をもとに、幼児食や手作りおやつ、食事の話などの講習を各園の技能職員が行っています。	地域の子育て家庭を対象におやつ講座を16回実施しました。	継続	継続	●											
II	a	12	赤ちゃんサークル「びよびよ」での離乳食講座	公立こども園（旧保育所）	こども園(旧保育所)給食をもとに、各園の技能職員が離乳食の講習を行っています。	自園調理ができる園と連携園で協力し、22施設にて実施しました。	継続	継続	●											

令和4年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
II	b	6	学校給食センター職員による学校訪問	学校給食課	学校給食センター職員が市内の公立小学校を訪問し、児童を対象に給食の話をしたり一緒に給食を食べたりすることで、交流を図っています。	希望する2校の学校への訪問を実施しました。	縮小	継続			●										
II	b	7	小・中学校における指導体制の充実	学校給食課	栄養教諭などを中心に学校での食育出前授業を行い、バランスのとれた食事指導を行います。	栄養教諭等の食育出前授業の案内を学校に周知し、出前授業を実施しました。	継続	継続			●										
II	b	9	給食センター食育イベント	学校給食課	少年期の子どもと保護者に給食センターで親子クッキング、センター探検隊を行い、給食の大切さや理解を深めてもらいました。	原田南センターで8月4日と8月5日の2日間、探検ツアーを開催しました。	継続	継続			●	●	●	●							
II	c	1	アレルギー講演会	おやこ保健課 (旧母子保健課)	専門医師のぜん息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患について講話と小児科アレルギー専門看護師による吸入指導やスキンケアの実演を行っています。また必要に応じ個別に保健指導を行っています。	オンデマンド配信1回 会場開催3回 視聴者・受講者数 合計109人	継続	継続	●	●	●										
II	c	2	両親教室	おやこ保健課 (旧母子保健課)	初めての妊娠を迎える妊婦とパートナーを対象に、妊娠・出産・育児について学び、意見交換をします。助産師会に委託しています。	24回開催、参加者数延680人(342組) オンライン型、来所型で開催	継続	継続	●												
II	c	3	マタニティークラス	おやこ保健課 (旧母子保健課)	妊娠中の過ごし方について助産師・歯科衛生士・栄養士が講話と実習をします。	11回 48人	継続	継続	●												

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
II	c	4	マタニティークッキング	おやこ保健課 (旧母子保健課)	妊娠中の食事と離乳食についての簡単な調理実習と試食。	講話と調理実演をオンラインにて実施 実施回数 4 回 参加者数 12 人	継続	継続	●												
II	c	5	ほのぼのママ教室	市立豊中病院栄養管理部	ほのぼのママ教室の3回シリーズの内1回で「食事バランスガイド」による妊娠中の食品摂取の目安及び、鉄分・カルシウムの不足予防などの理解を深めています。	コロナ禍のため教室はオンライン開催に変更となりました。 「妊娠中の食事」の情報提供は、WEB 媒体で継続しております。	継続	継続	●												
II	c	7	地区健康教室（出前健康教室）	コロナ健康支援課（旧健康政策課）	健康に関するご希望のテーマを保健師、栄養士、歯科衛生士等が地域の会場に出向き、講演します。	健康教室 37 回 延 424 人	継続	継続					●	●	●	●	●	●	●		
II	c	8	創造活動（適応指導教室）プログラム「クッキング」	児童生徒課（青少年交流文化館いぶき内）	不登校児童生徒を対象に、専門講師が季節の果物や野菜をもとに、手作りご飯や食事の話などの講習及び野菜の栽培、自家栽培による収穫物を使つての調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。	青少年交流文化館いぶき内 創造活動において「クッキング」プログラムを実施	継続	継続			●										
II	c	9	公民分館活動への支援	中央公民館 蛍池公民館 庄内公民館 千里公民館	公民分館による春秋講座運営に際して、情報提供や指導助言を行っています。	分館の春秋講座は 42 講座 78 回実施し、1,233 人が参加されました。 食育関連としては、1 分館が「薬膳講座」を 1 回実施し、15 人が参加しました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代									
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
II	c	10	糖尿病教室	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病教室の5回シリーズの内1回で「糖尿病食事療法」を開催しています。	コロナ禍のため対象者を入院患者さんに限定し開催しました。また、COVID-19 感染症や体調不良等の患者さんにも受講していただけるよう、講義の動画媒体を作成しました。担当者会議では振り返りを行い、充実した内容で開催を重ねることができました。	継続	拡充				●	●	●	●	●	●	●
II	c	11	慢性腎臓病教室	市立豊中病院栄養管理部	医師と合同で開催し、「慢性腎臓病の食事」の講義を担当しました。	令和4年度は COVID-19 感染症の感染拡大のため、日程を調整できず、開催を見送りました。 累計：開催回数 42回。参加人数 137名	縮小	拡充					●	●	●	●	●	●
II	c	12	心臓病教室	市立豊中病院栄養管理部	心臓病教室の2回シリーズの内1回で「心臓病の食事について」を開催しています。	コロナ禍のため教室は中止。講義は動画化し、YouTubeで公開中。患者・家族に広く活用いただいております。入院中の患者にはDVDで視聴していただきました。	継続	継続					●	●	●	●	●	●
II	c	14	とよなか倶楽部（糖尿病患者の会）	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病患者の会の一活動として、糖尿病食の講習及び調理実習を行い、糖尿病食への理解を深めています。	コロナ禍のため料理講習会は中止。講演会は再開しており、その中で糖尿病食に関するリーフレット等の情報提供を行いました。 ※会員の高齢化等により、令和5年度からは料理講習会ではなく食事会に事業を変更。外食時の対応についてミニレクチャーを継続していく予定。	継続	拡充					●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代									
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上
II	c	15	糖尿病透析予防管理指導	市立豊中病院栄養管理部	糖尿病腎症の患者さんに対し、透析導入を予防するために医師・看護師と共にチーム医療で患者さんの指導にあたっています。	月1回、多職種連携で透析予防のための重点的な指導を行い、患者さんが必要な治療を1日で凝縮して受けることができ、療養意識を高める機会をつくることができました。開催回数5回 参加人数7名	継続	継続				●	●	●	●	●	●	●
II	c	16	糖尿病性腎症重症化予防事業	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	II型糖尿病で概ね糖尿病性腎症病期2~3期の対象に透析導入に至らないよう病態を維持、改善できるよう主治医の指示の下、栄養指導を主とした生活習慣改善指導や療養支援を実施しています。	医師会と連携し実施。保健指導プログラム参加者13名。未治療者及び治療中断者への受療勧奨実施。	継続	継続							●	●	●	
II	c	17	難病患者療養生活支援	医療支援課 (旧保健予防課)	難病患者の在宅療養生活の質の向上のために保健師や栄養士等が相談に応じています。	訪問、面接、電話で相談に応じています。 相談件数 延2,679件	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
II	d	1	出前講座	広報戦略課	市民(団体)や学校等が主催する、食育や生活習慣病の予防(食事編)に関する講座に、講師(市職員)を派遣するほか、オンライン会議システムによる実施もしています。申込制。 また、一部のテーマについて、動画を公開しています。	年間講座実施数69件、参加者数2,832人 うち食育関係テーマ3件実施	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
II	d	2	地域への食育推進	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	食育への理解が進むよう、食育情報の提供や講師紹介、講師派遣を行っています。	地域に食育が浸透するよう、情報提供を行いました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
II	d	3	水道出前教室	上下水道局経営部経営企画課	小学4年生を対象に、水道水ができるまでの過程や、各家庭に水道水が配られる仕組みなどを、簡単な実験を行いながら説明します。食の原点となる「水」への関心を深め、水道水が安全な飲み物であることを理解してもらうことがねらいです。	令和2年度に実験機材の見直しにより、一人に一台使用可能な小型実験装置を貸し出す方式に変更しました。令和4年度は器材数を増加させ、令和3年度に引き続き、視聴覚機材の活用で教員の指導のもと、実験を実施していただく方式が定着しました。 実験器具の貸出し 36校(42校中) 3,194人 冊子のみ提供 6校(42校中) 576人	継続	継続			●									
II	d	4	公民館健康づくり推進事業	中央公民館 螢池公民館 庄内公民館 千里公民館	食育の推進、生活習慣病予防・改善、介護予防のための講座・講習会などを実施します。	健康づくり推進事業を6講座9回実施し、88人が参加し、食育関連としては、「体にやさしいみそ作り講座」を1回実施し、10人が参加しました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
II	d	14	料理教室 (再掲：生活情報ひろば事業)	くらし支援課	とよなか消費者協会に委託し、くらしかん登録グループの協力を得て、料理講習会等を開催しています。	魚屋さんが教える魚のさばき方 参加人数30人 無添加のみそ作り 参加人数50人 ルーマニアのティータイム 参加人数19人	継続	縮小						●	●	●	●	●	●	●
III	a	5	保育、教育の中で交流体験機会の提供	公立こども園 こども事業課	①野菜や稲の栽培、収穫物による調理などさまざまな体験を積み重ね、食を営む基礎を育てています。 ②もちつき等の季節行事を催しています。 ③保護者に、実施状況を報告したり、参加・協力の場を設けることで、家庭への情報発信及び食文化の伝達や交流を行っています。	随時実施。	継続	継続		●										

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
Ⅲ	a	6	世代間交流	豊中市社会福祉協議会	(市補助事業) 世代をつなぐ学習や交流を促進する場。 いも掘り、もちつき、料理教室等を通して食文化の伝達と交流を行うプログラムを実施しています。	25 校区 98 回/6447 人 コロナの影響で実施校区減	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅲ	a	7	ひとり暮らし高齢者の会食会	豊中市社会福祉協議会	(団体自主事業) みんなで会食をすることで、孤立感を防ぎ、仲間作りを行っています。	29 校区 261 回/ 708 人(※会員数) コロナの影響で実施校区減 ※テイクアウト方式やキッチンカー等を利用	継続	継続										●	●
Ⅲ	a	8	ミニデイサービス	豊中市社会福祉協議会	(市補助事業) 虚弱高齢者を対象に手作りミニデイサービスを実施しています。食育に関する相談も行っています。	コロナ渦の影響もあり、実施した校区福祉委員会がありませんでした。	中止	中止										●	●
Ⅲ	a	9	子ども食堂	豊中市社会福祉協議会	(子どもの居場所づくり地域福祉モデル事業) 子どもの生活習慣づくりなど、孤食の予防と居場所づくりなど、食事の提供により健やかな子どもの成長と地域のセーフティネットの体制を図る。	4 校区 78 回 2264 人	継続	継続			●								
Ⅲ	a	10	子ども見守り宅食事業	豊中市社会福祉協議会	コミュニティソーシャルワーカーが相談を受けている子育て世帯などを対象に見守り宅食や寄付食品による支援を通じて情報提供や生活支援を行う。	47 回 (1547 食) 122 世帯 延べ 955 世帯に配布	継続	継続		●	●	●							
Ⅲ	a	12	就航都市料理講座	空港課、公民館	大阪国際空港就航都市との交流事業。郷土料理や地元の食材を使用した料理を作り、食の楽しさを学んでいただくとともに、食を通じたコミュニケーションを図っていただいています。	事業見直しのため中止	中止	中止						●	●	●	●	●	●

令和4年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
Ⅲ	b	2	地域子ども教室	学び育ち支援課 (旧生涯学習課)	各小学校区単位で実行委員会を設置し、週1回程度、土日などの休日や放課後に子どもたちが地域の大人と交流しながら、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取り組みを行います。放課後子ども総合プランに基づき、放課後こどもクラブと連携し、子どもの居場所づくりの充実に取り組みます。	のべ1,276回実施、31,515人の子どもの参加がありました。	継続	継続			●		●	●	●	●	●	●	●
Ⅲ	b	3	青少年自然の家主催事業（宿泊事業）	社会教育課	市内の青少年を対象に、自然とのふれあい、人とのふれあいを通じて、自主性、協調性、創造性を養い、友情を培う場とします。（指定管理者に委託実施）	主に家族グループを対象とした野外活動の中で、薪や炭を使った野外炊事や、季節感を持ったメニューの提供に取り組みました。 対象別・実施内容（参加実人数） ○家族・グループ等 オープンフェスタ（秋245人、冬70人）、 防災キャンプ（33人）	継続	継続			●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	a	1	施設見学	広報戦略課	市民団体等を対象に、学校給食センターや緑と食品のリサイクルプラザなどの施設見学を実施しています。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、見学の受け付け及び実施を中止しました。市ホームページにおいて、見学可能施設一覧や動画を公開しました。	中止	完了 ・ 廃止	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
Ⅳ	a	2	菜園活動、調理体験	児童発達支援センター・ 児童発達支援事業所あゆみ	①園内にある畑で野菜等を栽培、収穫しています。 ②園でとれた作物や、給食の材料等を使って調理体験をしています。	随時実施。	継続	継続		●									

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
IV	a	3	市民農園	産業振興課	①募集から斡旋、契約事務 ②苦情処理 ③栽培講習会 ④運営費助成事務等 ①~④の事業推進による農地の活用及び都市農業・食育の啓発をはかっています。	1 区画約15㎡を23か月利用 2 1農園824区画	継続	継続						●	●	●	●	●	●
IV	a	4	市民農業体験	産業振興課	市民にさつまいもやたまねぎを栽培する機会を提供することにより、豊中での「農のある暮らし」を実感してもらい、農業への理解を深めるとともに、都市農業・食育の啓発をはかっています。	・5月から10月 さつまいも栽培体験(30世帯、94人) ・11月から3月 たまねぎ栽培体験(24世帯、72人)	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	a	5	農業祭	産業振興課	年1回11月ごろに、農協等と実行委員会形式で実施しています。市内で栽培された野菜等の即売等による都市農業・食育の啓発を行っています。	第43回豊中市農業祭 令和4年11月26日(土) 豊島公園多目的広場 来場者数 約3,000人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	a	6	給食センターの見学の受入れ(市民向け)	学校給食課	給食センターの様子を見学し、学校給食への理解を深めています。	小学校で12回施設見学を実施しました。	継続	継続						●	●	●	●	●	●

令和4年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
IV	a	7	保育、教育の中で交流 体験機会の提供	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園・豊中市民間 保育園連合会加盟保育 園・豊中市認定こども園 協議会加盟園	農家と交流したり、魚のさばき方の見学 をしている園もあります。魚や蛸をさば く様子を見て触れる、季節行事で梅干 し・味噌・流しそうめん・干柿・もちづ きなど行う、年齢に合った調理体験・収 穫体験を行う、茶道体験を行う園あり ます。	コロナ禍以降、取り組みを縮小している園が 多いが、農家と連携し、苗植え、田植え、夏 野菜収穫、稲刈り、芋ほりなど農業体験を自 園で栽培した芋掘り体験や、それを使ってお やつ作りを行う園もあります。栄養士が子ど もの目の前で魚をさばくのを、こどもが見学 し、魚には骨がある事や、命を頂く意味につ いて皆で考える取り組みをする園もありまし た。	縮小	縮小		●											
IV	a	8	自然と親しむ事業	豊中市社会福祉協議会	(小地域ネットワーク事業(市補助事 業)の1つとして実施)いも掘り等の土 に親しむ事業を校区の実情に合わせて実 施しています。	7校区	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	a	9	自然と親しむ事業	豊中市私立幼稚園連合 会、豊中市民間保育園連 合会・豊中市認定こども 園協議会加盟園	遠足などの行事も活用し、いも掘り等の 土に親しむ事業を地域の实情に合わせて 実施しています。	コロナ禍以降、一部中止している園もある が、各園の地域实情に応じて工夫し、ジャガ イモやさつまいも、トマトやキュウリなどの 栽培・収穫を体験しています。園外保育を実 施し、自然に親しむ機会を多く取り入れ、合 宿等で魚のつかみどりを行い、塩焼きにし ていただく取組みをした園もあります。遠足な どの行事も活用し、みかん狩り等の収穫体験 をしている園もあります。	継続	継続		●				●	●	●	●	●	●	●	●
IV	a	10	MY米づくり	NPO 法人とよなか市民環 境会議アジェンダ21・花 と緑のネットワークとよ なか	5月には種もみ、6月は苗3本を、作り 方の説明や肥料とともに環境交流センタ ーで配布。自宅で米作りをしてもらいま す。	93人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
IV	a	11	豊中あぐり事業	豊中市社会福祉協議会	市内土地を活用して農業を通じた男性の社会参加の場の取組み	会員 150 名 延べ参加者 2796 人	継続	継続												●	●
IV	b	2	親子農業体験事業	豊中市社会福祉協議会	豊中あぐり事業農園における子ども野菜収穫・稲刈り・芋ほり体験	6回 217人	継続	継続		●	●									●	●
IV	b	4	とよなか市民環境展	ゼロカーボンシティ推進課 (旧環境政策課) NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21	豊中市（ゼロカーボンシティ推進課）・豊中市教育委員会・とよなか市民環境会議と共催。市民、事業者、行政の環境問題解決に向けての取り組みの発表・交流の場。概ね、11月第3もしくは第4週に実施しています。	来場者数：2,232人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	5	環境学習の推進	ゼロカーボンシティ推進課 (旧環境政策課)	①事業者や大学と連携し、小学校へ自動車から学ぶ地球温暖化対策について環境学習を行いました。 ②ESDリソースセンターWEBにより、豊中市内の、食育に寄与する店舗などを紹介しています。	①1校 3クラス 104名 ②掲載内容を随時更新。(R5.4.1 廃止)	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	6	市民による環境活動への支援（豊中アジェンダ 21 の普及・促進）	ゼロカーボンシティ推進課 (旧環境政策課)	「とよなか市民環境会議」の事務局として、ネットワーク組織としての活動、ならびに構成団体である市民団体・事業者が主体的に取り組む環境活動の促進を支援します。また、「豊中アジェンダ 21」の推進組織である「NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21」が主体的に行う普及・啓発活動や実践活動を支援しています。	とよなか市民環境会議総会の開催（書面開催） 地球温暖化防止イベント 参加者数：78人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

令和4年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
IV	b	7	生ごみ・剪定枝堆肥の配布・頒布	公園みどり推進課、NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなか	学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しなどに公園や街路樹の剪定枝をチップ化したものを混合し、堆肥化しています。できあがった堆肥「とよっぴー」は、アジェンダ21・花と緑のネットワークとよなかにより、土壌改良材として、学校・こども園、市内等の農家ほか、各種イベントなどで配布・頒布しています。	約95.1トン	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	8	絵本「きょうのきゅうしょくな〜にかな」の活用	家庭ごみ事業課	小学校給食の食べ残しを減らし、食べ物を大切にしたいという願いをこめて職員が作成しました。 なぜ食べ物を残すとダメなのかを、身近な野菜や子どもたちを登場させることで、感情移入しやすく、言葉は全てひらがなを使用しているので理解しやすい内容になっています。	5,000冊増刷。 市内こども園等の年長児に配布しました。 その他イベント時に配布しました。	継続	継続	●	●	●								
IV	b	9	とよなか食品ロス・ゼロハンドブックの活用	減量計画課	市民の「もったいない」の意識を高め、食品ロスを削減するために、食べ残しや手つかずで捨てられる食品等の食品ロス実態や食の大切さを情報提供するとともに、ごみをなるべく出さない調理法や買い物など食品ロスの削減に関する実践事例・アイデアについて分かりやすく解説し、実践行動に移していただくために作成しました。	4000冊作成。 市内こども園等の年長児の保護者に配布しました。 その他イベント時に配布しました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
IV	b	10	フードドライブの実施	減量計画課	家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。各種イベント等にて実施しています。	市内地域イベント等において7回実施し、合計276.1kgの食品が提供されました。また、事業者との協働実施とし(株)ダイエー市内3店舗、生活協同組合コープこうべ市内3店舗、(株)光洋市内5店舗でフードドライブを実施し、併せて総重量5930.9kgの食品が集まりました。	継続	継続		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	11	保育、教育の中で食の循環に関する取り組み	公立こども園	教育・保育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育んでいます。	【公立こども園】季節折々の野菜や果物（いちご、さつまいも等）や稲の栽培を年間計画して取り組んでいます。落ち葉や給食の残さを畑の肥料として利用し、収穫したものを給食の食材やクッキングに使用しました。	継続	継続		●	●								
IV	b	11	保育、教育の中で食の循環に関する取り組み	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園、豊中市民間 保育園連合会加盟保育 園・豊中市認定こども園 協議会加盟園	保育・教育の一環として行う野菜や稲の栽培時に、野菜くず・落ち葉を活用した堆肥を使うことで、ごみの減量に取り組むとともに、食の循環を体現し自然の恵みに感謝する気持ちを育んでいます。	保育・教育の一環として、野菜くずや給食の残飯からつくられる土「とよっぴー」の工場見学などを行い、畑でつくられている野菜の循環を学ぶ取り組みを行う園があります。園内で玉ねぎやさつまいもなどを育て、収穫を体験している園もあります。	継続	継続		●	●								
IV	b	12	とよっぴー(生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食食材として使用する「食のリサイクル」の取り組み	学校給食課	とよっぴー(給食から出る生ごみ・剪定枝堆肥)で作った市内農作物を給食で使用しています。	全小学校41校の給食で使用	継続	継続		●	●								

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
IV	b	13	みどりのカーテンづくり	公園みどり推進課	市民との協働により取組みを進める豊中みどりの交流会において、小学校やこども園、授産施設等でみどりのカーテンづくり（ゴーヤの栽培）の取組みを支援しています。収穫したゴーヤは、小学校等において食育として活用されています。	小学校 30校 こども園・授産施設等 32施設	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	14	緑と食品のリサイクルプラザ見学対応	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか	学校給食センターから出る調理くずや給食の食べ残しなどに公園や街路樹の剪定枝をチップ化したものを混合し、堆肥「とよびー」を製造する施設の見学者に対して、有機性資源循環の仕組みと食の重要性の啓発を行っています。	37回、487人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	15	堆肥化講習会	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか	家庭向け堆肥づくり講習会を行うことにより、生ごみの発生抑制・再資源化及び家庭菜園での堆肥活用を推進しています。	18回、119人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	16	栽培講習会	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか	有機性資源を活用した上手な野菜づくりの講習会を開催しています。	5回、157人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
IV	b	17	講座型環境学習	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会 議アジェンダ21・花と緑 のネットワークとよなか	生ごみの発生抑制や資源循環を推進する ため、米づくり・食品ごみ・地産地消等 をテーマに講座を実施しています。	34回、707人 (内29回、467人公園みどり推進課分含 む)	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	18	食育フォーラム	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会 議アジェンダ21・花と緑 のネットワークとよなか	栄養など食事の内容だけではなく、どこ でどう作られたかも含めて食べ物に関す る正しい知識を得るための講座を実施し ています。	1回 23人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	19	農体験学習	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会 議アジェンダ21・花と緑 のネットワークとよなか	①希望する小学校等に出向いて、主に4 年生・5年生を対象に、野菜の植え付 け・収穫、お米づくりなどの農体験学習 を実施しています。 ②親子や児童・生徒等に対して、「とよ っぴー農園」において、野菜の植え付 け・収穫等の農体験学習を実施していま す。	①農体験学習（小学校等）：10回、308人 (内10回、308人公園みどり推進課分含 む) ②農体験学習（とよっぴー農園）：50回、 790人（内44回、626人公園みどり推進課 分含む）	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	20	とよっぴーフェスタ	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会 議アジェンダ21・花と緑 のネットワークとよなか	学校給食の食べ残しなどから堆肥「とよ っぴー」を作っている「緑と食品のリサ イクルプラザ」の見学や「とよっぴー」 で育てたサツマイモ掘りなど、食と農及 び資源循環について楽しく学べる様々な イベントを実施しています。	350人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

令和4年度 食育推進計画関連事業一覧

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
IV	b	21	とよっぴー展	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会 議アジェンダ 21・花と緑 のネットワークとよなか	堆肥「とよっぴー」の製造に関するパネル 展示や臼すり機等の農機具、給食の食 べ残しなどのパンの実物展示等をしてい ます。	203 人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	b	22	とよっぴー倶楽部	NPO 法人とよなか市民環 境会議アジェンダ 21・花 と緑のネットワークとよ なか	(団体自主事業) 市の堆肥化事業の市民応援団を組織し、 有機性資源の活用を推進しています。年 会費 1,000 円で、主に堆肥「とよっぴ ー」の頒布日に受け付けています。ま た、年 4 回のニュースレターを発行・郵 送しています。	68 人	継続	継続					●	●	●	●	●	●	
IV	b	23	生ごみ堆肥化容器等助 成	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会 議アジェンダ 21・花と緑 のネットワークとよなか	家庭での生ごみの堆肥化活動を支援する ため、堆肥化資材の提供や容器等の購入 費の助成をしています。	ダンボール資材：36 件 密閉バケツ：1 件 コンポスト：3 件 電動処理機：0 件	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
IV	b	24	堆肥「とよっぴー」使 用野菜等の学校等給食 提供	公園みどり推進課、NPO 法人とよなか市民環境会 議アジェンダ 21・花と緑 のネットワークとよなか	豊中市内の農家の協力をいただき、市で 製造した堆肥「とよっぴー」を使って育 てた米や野菜を小学校等の給食に提供す ることで、資源循環の啓発及び地産地消 の取組みを推進しています。	94 回、6 種類	継続	継続			●								

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代										
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
IV	b	25	ECO カフェ	NPO 法人花と緑のネット ワークとよなか	暮らしの中で、エネルギーや食について 考えようシリーズVol. 1 無農薬とよ っぴー野菜を使ったエコな「陰陽調和の 重ね煮」を料理研究家 梅崎先生にすて っぷ調理室で実習します。NPO 法人豊 中市民エネルギーの会・女性部、NPO 法人自然派食育・きちんときほん、E N J O Y♡こどもごはんの4 団体で共催し ます。	各団体でそれぞれの活動に進むため発展的解消	完了 ・ 廃止	—						●	●	●	●	●	●
IV	b	26	収穫祭での調理体験	学校給食課	小学校校区内で収穫された野菜を収穫 し、その食材を使つての調理体験	走井センターで1 校の学校で地域の農家の方 をお招きし、2 日間にわたり実施しました。	新規	継続			●								
IV	c	1	豊中市農業経営者協 会との協働による都市 農業の振興	産業振興課	①部会ごとに事業を実施しています。 ○指導者部会－協議会の基本事項等につ いて協議。 ○研究部会－豊中まつり、農業祭におい て新鮮野菜を安価で販売。市民農園技術 指導、農業講座等を実施。 ②上記事業を実施している協議会との連 携・協働による地産地消の推進、都市農 業・食育の啓発を行っています。	・学校給食副食用野菜の出荷 18 農家 ・市民農園の技術指導 令和4年4月17日 (日) 10 農園で実施 ・豊中まつり、農業祭、ふれあい緑地フェス ティバル、定期開催朝市9 か所における豊中 市産野菜の直売 ・農業先進地技術交換会の実施は、新型コロ ナウイルス感染症の影響により中止。	継続	継続					●	●	●	●	●	●	
IV	c	2	地産地消	くらし支援課	地産地消の推進を目的に、くらしかん登 録グループ主催で市後援事業の一環とし て地産地消イベントを実施しています。	地産地消イベントは市後援事業として12 回	継続	縮小						●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
IV	c	3	堆肥「とよっぴー」使用野菜等の頒布	NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21・花と緑のネットワークとよなか	地産地消の推進を目的に、くらしかん（第2水曜日）やさわ病院（第4木曜日）、環境交流センター（第1土曜日）などで、市で製造した堆肥「とよっぴー」を使って育てた野菜等を頒布しています。火曜日には環境交流センターにてある時あるだけ野菜市として「とよっぴー」農園の野菜を販売しています。	36回、1,063人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	c	4	豊中市産大根の試食	産業振興課 とよなか消費者協会	農業祭で市民300人に大根炊きをして試食していただきました。	コロナ渦を経て農業祭は令和4年度より再開しましたが、豊中産大根の試食のブースは設置しないこととなりました。	完了 ・ 廃止	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	c	5	桜井谷あおぞら朝市	桜井谷あおぞら朝市運営委員会	（団体自主事業） 桜井谷地域を中心にした地場野菜等を販売する朝市を毎月第1,3土曜日（7月、8月は毎週）午前9時（夏期は8時半）から JA 大阪北部桜井谷支店駐車場で開催しています。	・ JA 大阪北部桜井谷支店駐車場で毎月第1,3土曜日（7,8月は毎週）に開催。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
IV	c	6	コラボ朝市	地域連携課 (旧千里地域連携センター) 産業振興課	市内農業者の協力を得て、地産地消を通して、市民交流の場づくりと千里地域の賑わいづくりに向けた取り組みの一つとして、豊中市産野菜等の直売会を毎月第3水曜日に開催しています。	毎月第3水曜日午前10時から千里文化センター「コラボ」で開催しました。 通年12回開催、参加人数は延べ969人	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
V	a	1	①「にこりちゃん歯科健診」 ②「パパ・ママ歯科相談」	おやこ保健課 (旧母子保健課)	1歳6か月児健診の結果1/17と判定された幼児とその保護者を対象に、個別相談や健診を、3会場で実施しています。	①②コロナ感染拡大防止のため実施せず	中止	継続		●				●	●	●				

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
V	a	2	歯科健診時の保健指導	おやこ保健課 (旧母子保健課)	歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行っています。	歯科医師や歯科衛生士による相談や保健指導を行いました。	継続	継続		●			●	●	●						
V	a	3	歯科健診の実施	こども事業課 学務保健課 (旧学校教育課)	虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	全園児・児童生徒に実施しました(年1回)。	継続	継続		●	●										
V	a	3	歯科健診の実施	豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園、豊中市民間 保育園連合会加盟保育 園・豊中市認定こども園 協議会加盟園	虫歯の早期発見、受診勧告を目的とした歯科健診を実施しています。	年に1回、または2回、園医による歯科検診を実施しています。	継続	継続		●											
V	a	4	歯みがき指導	公立こども園各保育所、 豊中市私立幼稚園連合会 加盟幼稚園、豊中市民間 保育園連合会加盟保育 園・豊中市認定こども園 協議会加盟園	2歳児の歯磨きが始まる9月に合わせ、 昼食やおやつ後に、年齢に応じた年齢 に応じた歯のみがき方、歯の大切さを伝 えています。	コロナ禍以降、中止または文書による啓発にとどめている園も多いが、飛沫防止に配慮して実施する、感染予防のためうがいのみ実施する園もあります。	継続	継続		●											

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
V	a	5	歯科健診、歯磨き指導	児童発達支援センター・ 児童発達支援事業所あゆみ	①歯科健診 ②歯科衛生士による歯磨き指導 ③保護者への講話、相談対応 ④給食後の歯磨き ⑤保育の中での歯磨き指導	①児童発達支援事業所あゆみ 1回、児童発達支援センター 2回 ②児童発達支援センター 1回 ③随時実施 ④毎日実施 ⑤随時実施	継続	継続		●											
V	a	7	歯の保健巡回指導	(一社)豊中市歯科医師会 豊中市学校歯科医会	児童が歯の健康に関する知識と関心をもち、歯の健康の維持と病気の予防を実践できる能力を身につけることを目的とし、歯科衛生士専門学校の協力のもと、2年サイクルで市立全小学校に保健巡回指導を実施しています。	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催中止	中止	中止			●										
V	b	1	すくすくよい歯の教室	おやこ保健課 (旧母子保健課)	乳幼児期の歯科保健に関する知識の普及、啓発(講話・健診)。3会場を実施しています 予約制。13年度より内容を見直し、1回2日制に変更しましたが、15年度より、内容を維持しつつ、受講者の利便性を考え、1回1日制に変更しました。	年26回 234人(オンライン開催含む)	継続	継続		●											
V	b	2	「歯や口の健康づくり ハンドブック」	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	歯や口の健康づくりについて、介護予防を中心におおむね中高年期を対象に情報提供と普及啓発をおこないます。	中高年期を中心とした地域健康教育活動等で配布し活用。 豊中市歯科健康診査や後期高齢者医療歯科健康診査実施の歯科医院に配布し、保健指導に活用。 「歯や口の健康づくり教室」受講者への配布。 妊婦を対象とした保健事業でも配布。 転入手続き時にも配布。 年間計約10,000冊を配布	継続	継続								●	●	●	●	●	

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 〜 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
V	b	8	豊中市民健康展	(一社)豊中市歯科医師会	豊中市医師会・豊中市薬剤師会とともに主催。歯科ブースでは歯科健診、歯磨指導、フッ素塗布などを実施しています。	新型コロナウイルス感染拡大防止の策を講じながら、歯科ブースではパネル展示、動画放映をおこないました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
VI	a	1	血管プロジェクト（減塩の周知啓発）	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	H29年度から4年計画で、毎年テーマを設定し、血管を守るための施策を展開。関心のある人だけでなく、関心のない人にも健康行動を誘発するポピュレーション・アプローチを実施します。H29年度からのテーマ：「減塩」	豊中市ホームページ内の減塩協力店ページ掲載店を拡大しました。	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
VI	a	2	血管プロジェクト（減塩協力店の募集）	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	「買ってきた惣菜やお弁当、外食で注文した料理がもともと塩分ひかえめで作られていた」など、自然と減塩につながる環境づくりに協力いただけるお店を募集しています。	・新規登録店舗数：0店舗 ・累計店舗数：87店舗	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
VI	a	3	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	「うちのお店も健康づくり応援団の店」の普及・啓発を行っています。野菜たっぷりや、エネルギー控えめ等のヘルシーメニューの提供や、健康と環境にやさしい「ヘルシーオーダー」の実施等を推進しています。	市ホームページに「うちのお店も健康づくり応援団の店」及び「ヘルシー外食コンテスト2022」の記事を掲載するなど普及を呼びかけました。 新規登録店舗数 0店舗 累計店舗数 497店舗	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代											
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上		
VI	a	4	食品表示に関する指導等	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	栄養成分表示や広告などの「誇大広告の禁止」などに関して市民に適切な情報の提供を行ったり、食品業者や広告業者などに対する相談や指導を行っています。	食品表示基準等に関する相談・指導・助言 19件 虚偽誇大広告等に関する相談・指導 0件	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
VI	a	5	特定給食講演会	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	大阪府域の特定給食施設およびそれに準ずる施設のスタッフ（管理栄養士・栄養士・調理師等の給食関係者）や、大阪府栄養士会会員等約800名を対象に、年1回、府内の市町村等が合同で講演会を実施しています。	講演会を5つに分けて、オンデマンド方式で公開しました。 大阪府全体再生回数 講演① 3,813回 講演② 2,761回 講演③ 2,313回 講演④ 2,007回 講演⑤ 1,515回 豊中市受付 46施設	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
VI	a	6	特定給食施設等研修会	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	市内にある特定給食施設やそれに準ずる施設のスタッフ（施設管理者・管理栄養士/栄養士・調理師等）を対象に、年1回程度研修会を実施しています。	食中毒予防に関する研修会5月に実施しました。 当日オンライン参加施設 36施設 後日オンライン視聴再生回数 70回	継続	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
VI	a	7	給食施設への食育推進支援	コロナ健康支援課 (旧健康政策課)	食育に関する情報を提供するなどして給食施設における食育推進を支援しています。	例年は特定給食施設等に対するメール情報配信「給食通信」などで食育に関する情報を提供していますが、コロナ禍の中で、提供する情報がなく、配信していません。	中止	継続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
VI	a	8	技能員研修会	こども事業課	教育・保育における子どもの安全と環境整備を考え、環境保全・食育に関わる研究の推進に取り組んでいます。	技能長会議等を活用し「献立検討」「研修企画」「技能員手引書作成」「離乳食Q&A作成」の4つのグループに分かれ、公立こども園給食のさらなる充実に向けて活動しました。	継続	継続		●										

基本目標	基本方針	事業等※		所管	内容	令和4年度 実績	実施状況		対象となる年代												
							R4	R5 予定	胎児期 (妊娠期)	幼 年 期	少 年 期	16 ~ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上			
VI	b	3	子育て・子育てネットワークづくり	こども支援課子育て支援センター	地域子育て支援センター、地域支援保育士が中心になってコミュニティーソーシャルワーカーとともに各小学校区の地域活動を支援するために、関係機関や団体との連携を図りネットワークづくりを進めています。	地域福祉ネットワーク会議（こども部会）校区連絡会を全41校区で開催しました。	継続	継続		●											
VI	b	4	公民館登録グループ活動支援	中央公民館、 蛸池公民館、 庄内公民館、 千里公民館	①料理グループなどに活動場所の確保を行っています。 ②グループ活動成果の社会還元として、グループ体験講習会への支援および公民館講座への講師登用を行っています。	登録グループの体験講習会を41講座56回実施し、食育関連としては、『「男の料理教室」美味しい会』の体験講習会を1回実施し、3人が参加しました。	継続	継続			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
VI	b	5	男女共同参画推進活動への支援	人権政策課	(指定管理者(一財)とよなか男女共同参画推進財団による運営・管理) グループ・団体活動の情報収集・提供、自主グループ活動育成・支援、グループ活動活性化のための講座の開催、すてっぷ登録団体助成金交付、グループ活動リーダー養成、ワークスペース・機器等の提供、交流ネットワークの機会提供、ネットワーク協議会の組織化などを行っています。	事業は実施しましたが、食育に関する取組みはありませんでした。	継続	縮小				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※事業等の番号について、令和3年度以前の事業実績が「完了・廃止」になっているものについては載せていません。そのため番号が飛んでいる場合があります。

※「公立こども園等」と、「豊中市私立幼稚園連合会加盟幼稚園・豊中市民間保育園連合会加盟保育園・豊中市認定こども園協議会加盟園」は同一事業名のため番号は同じになっています。

令和4年度(2022年度)

第3期豊中市食育推進計画年次報告書

令和6年(2024年)3月

豊中市 健康医療部 コロナ健康支援課

〒561-0881 豊中市中桜塚 4-11-1

TEL 06-6858-2879 FAX 06-6152-7328